

「親子が上る自立の坂道」期（子育て後期）

対象 小坪小学校PTA 小学生1～6年生の子をもつ親 34名

さあ、どっち！？
～信じる 見守る 待つ、聞く？～

(ねらい) 多感な時期の子どもとの接し方から、親子のよりよいコミュニケーションの取り方について考える。

(準備物) 小学校・・・名札・筆記用具・模造紙・じしゃく・マーカー・ホワイトボード

ファシリ・・・テキスト・アンケート用紙・付箋

時 間	アクティビティの展開例	留 意 点	備 考
14:00～	打ち合わせ 受付 名札をつける。	・和やかな雰囲気作りに配慮する。	スケジュール 板書
14:30～	自己紹介(ファシリテーター) ワークの主旨・ルール説明(表紙を見ながら)	・写真を撮るなら了解を得る。 ・みんなが主役・みんなが先生である事を伝える。	
14:35～ (20分)	アイスブレイク ・「ゆきやこんこん」を歌いながら、片手は前(パー)、片手は胸(グー)にする。 途中からパーとグーを反対にする。 ・ファシリテーターが絵の説明をし、紙に描いてもらう。 描いたものをグループで見せ合う。 ・2人組になって、背中合わせにすわり、一方が絵を見ながら説明し、一方が描く。 説明者を交代し、違う絵を使って、描き手が質問しながら描く。	・場を和ます。 ・大きな声で歌ってもらう ・「質問をしない」「人の物は見ない」と声掛けをする ・それぞれ違うことを感じてもらう。 ・言葉で伝えることの難しさを感じてもらう。 ・言葉によって理解することを体験してもらう。 ・アイスブレイクの時と同じグループで始める。	図形 コピー用紙 A4 筆記用具 テキストを配る用意をする。
14:55～ (20分) 15:05～	表紙のねらいを読みあげる。 P2のエピソードを読み上げる。 1. 2に記入する。 意見交換 P3のエピソードを読み上げる。 4. 5に記入する。 意見交換	・3つの約束(発言の平等・人の発言を肯定的に聞く・守秘義務)をみんなで共有する。 ・頭ごなしに叱る対応が子どもとのコミュニケーションを阻害する。ただし、叱られて嬉しいと感じる場合もある。 ・「信じる」事と「ほったらかす」事の違いについて考える。ただし、ただ見守ってくれて嬉しかったなどの意見もある。	

<p>5~ 分 5~</p> <p>2~</p>	<p>自分ならこのような時どう対応した いか、何に気を付けたいかを付箋に書 き出す。</p> <p>仲間分けする。</p> <p>※グループで発表</p> <p>「理想の自分と現実の自分について」 「分かっているけどできない」など思 うことをざっくばらんに話す。</p> <p>〈学習を振り返りましょう〉に記入 今日感じたこと、自分が心がけたいこ と、など</p> <p>グループごとに発表し共有する。 (参考になる事は6に記入) お互いに質問があれば出してもら (理想の対応をするために心がける ことなど・・・)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いつくまま何枚でも書き出 す。(付箋1枚につき1事項) ・ 子どものタイプなどをメモ書き してもらっても可。 ・ 横造紙を前に貼りだす。 	<p>付箋 マジック 横造紙 磁石</p>
<p>5~ 分 切れ</p>	<p>〈さらに考えましょうを読み上げる〉 紹介のみ 〈学習を振り返りましょう〉に記入</p> <p>意見交換 子どもとのコミュニケーションで心 がけたいことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由に意見交換をする。 ・ 時間があれば全体で共有す る。 	
<p>0~ 5~</p>	<p>アンケート記入後自由解散</p>		<p>アンケート用 紙</p>

図

